注記　１．本学が有している土地、建物の一部（19,649,762,524円）を国立大学財務・経営センター長期借入金（7,836,824,000円）の担保に供しております。
２．期末における債務保証の総額は12,298,463,864円であります。
３．運営費交付金から充当されるべき退職一時金の当期末見積額は12,131,475,060円であります。
４．運営費交付金から充当されるべき賞与の当期末見積額は778,453,751円であります。
５．本学は、法令上処分が必要な高濃度のＰＣＢ廃棄物を保管しており、今後発生が見込まれる処分費用は概算で233,700,000円となっていますが、国立大学法人の場合は運営費交付金（特殊要因経費）によりＰＣＢ廃棄物処理費が措置されており、今後も所要の措置がなされる予定であることから、引当金の計上を行っていません。
６．利益剰余金のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの
①　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額の累計	20,044,431,564円
当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計	15,900,031,259円
利益剰余金に与える影響額（差引き）	4,144,400,305円

②　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの
法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額の累計　1,137,235,637円
③　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　26,886,032円
④　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資ではなく譲与としたことによるもの　653,276,272円
5,961,798,246円

損　益　計　算　書

（自　平成24年４月１日～至　平成25年３月31日）　（単位：円）

経常費用				
業務費				
教育経費			1,949,248,709	
研究経費			2,161,452,992	
診療経費				
材料費		7,003,372,436		
委託費		1,397,537,488		
設備関係費		3,244,407,433		
研修費		2,264,960		
経費		1,296,804,598	12,944,386,915	
教育研究支援経費			246,360,909	
受託研究費			1,348,536,419	
受託事業費			246,104,277	
役員人件費			79,964,293	
教員人件費				
常勤教員給与		8,192,613,417		
非常勤教員給与		1,861,642,051	10,054,255,468	
職員人件費				
常勤職員給与		5,945,847,304		
非常勤職員給与		3,168,720,364	9,114,567,668	38,144,877,650
一般管理費				1,038,691,761
財務費用				
支払利息			391,382,326	391,382,326
雑損				
為替差損			465,661	
その他雑損			6,975,125	7,440,786
経常費用合計				39,582,392,523
経常収益				
運営費交付金収益				11,534,571,934
授業料収益				3,449,008,224
入学金収益				542,962,800
検定料収益				132,611,600
附属病院収益				20,244,358,635
受託研究等収益				
国等からのもの			121,517,993	
国等以外のもの			1,301,694,514	1,423,212,507
受託事業等収益				
国等からのもの			131,374,730	
国等以外のもの			120,092,289	251,467,019
施設費収益				118,038,732
補助金等収益				354,994,629
寄附金収益				923,264,707
資産見返運営費交付金等戻入				421,832,782